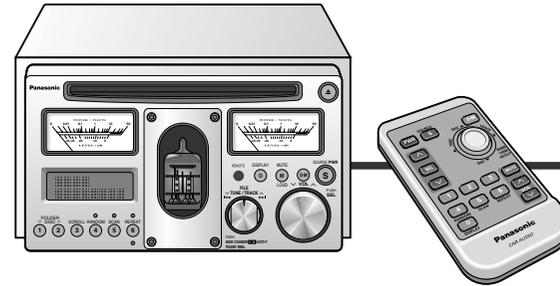


Panasonic

CD レシーバー

取扱説明書



品番
CQ-TX5500D



MP3



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

2DIN に CD プレーヤー・FM/AM チューナー・CD/MD チェンジャーコントロール機能、高音質 45W x 4ch パワーアンプを搭載

CD-R/RW ディスク対応* 1

「CD-R/RW ディスクのご使用について」(29 ページ) をよくお読みください。

MP3 対応

本機で MP3 ファイルを再生できるメディアは、CD (音楽用の CD-ROM、CD-R、CD-RW ディスク) です。
「MP3 ファイル作成時の留意点」(21 ページ) をよくお読みください。

タイトル表示機能* 2

CD テキスト (ディスク名・トラック名)

MD ディスク名・トラック名 MD チェンジャー使用時

高級ホームオーディオのイメージを醸し出すフェイスパネル

重厚な質感が美しいフェイスデザイン

高級感と操作性を兼ね備えたアルミ削りだしの操作つまみ (10 ~ 11 ページ)

右側：ロータリーエンコーダー、左側：セルフリターンキー (ツインダイヤル)

2 連アナログメーター採用 (10、27 ページ)

入力レベルと出力パワーのどちらに連動するかを選択できます。

真空管搭載* 3

真空管独特の、繊細でまろやかな音と暖かみあふれる光を楽しむことができます。

システムアップ用端子を装備

CD/MD チェンジャーコントロール機能 (22、40 ページ)

ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) を使用すれば、最大 2 台まで接続できます。

ナビミュート機能 (27、39 ページ)

カーナビゲーションの音声案内中に本機の音声をミュートすることができます。

外部音声入力端子 (AUX-IN) 付き (24、37、38 ページ)

テレビ (別売) のステレオ音声等を本機で聞くことができます。

外部アンプと接続できるプリアウト端子付き (37、40 ページ)

高操作性のジョイスティックリモコン

指で簡単に操作できるジョイスティックキーを搭載したリモコンが付属されています。(11 ページ)

お知らせ

接続可能な CD/MD チェンジャーは、下記の機種です。(2002 年 4 月現在)

CD チェンジャー：CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D

MD チェンジャー：CX-MD6D

* 1：CD チェンジャーは、機種によって CD-R に対応していないものがあります。また、ディスクによっては正常に再生されない場合もあります。CD-RW、MP3 には対応していません。

* 2：CD チェンジャーは、タイトル (CD テキスト) を表示できません。

* 3：内蔵 CD プレーヤー用です。CD チェンジャーの音は、真空管を通りません。

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

使う

電源を入れる・基本操作	12
電源を入れる/切る 音量を調整する 表示を切り替える 音源(ソース)を選ぶ 一時的に消音する(ミュート) 小音量のときに低・高音を強調する(ラウドネス)	
ラジオを聞く	14
CD を聞く	16
MP3 を聞く	18
チェンジャーで CD/MD を聞く	22

使いこなす

便利な機能	24
交通情報などをボタン一つで受信する(ダイレクトメモリ) 外部機器の音声を聞く(AUX)	
音質の調整	25
ユーザー設定	26

時計調整は、こちらをご覧ください。 26 ページ

必要なときに

ディスクの取り扱いについて	29
お手入れのしかた	30
故障かな!?	30
配線・取り付けの前に	34
取り付けかた	35
配線のしかた	36
仕様	41
アフターサービスについて	42

ご使用前に

使いかた

必要なときに

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

 **禁止** 保安部品（ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど）のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V \ominus アース車で使用する

 **!** 本機はDC12V \ominus アース車専用です。DC24V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、
バッテリーの \ominus 端子を必ずはずす

 **!** バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

警告

故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、故障（画像が映らない・音が出ないなど）や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど）が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に相談してください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 **!** 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す

 **!** ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないよう引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する

 **!** 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

 **分解禁止** 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

 **!** 事故の原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

 **禁止** エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない

 **禁止** 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

MP3 ファイル以外のファイルに、
拡張子「.MP3」を絶対に付けない

 **禁止** MP3 ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。
特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。
車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損ないように引き回す。
傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）の CD や、プロテクトフィルム・スタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD は使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。
特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW は、使用しないでください。

⚠ 注意

電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

⊕⊖ を電池ケースの表示に合わせて入れる。

使いきった電池は、すぐに交換する。

リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。

充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。

電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ビニール袋に入れる、テープなどを巻く）

著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。

（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

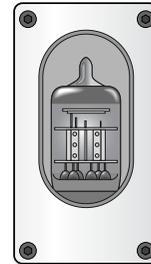
本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外（例えばレジャーポートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

真空管を取り出すのは、絶対におやめください

分解や改造は、やけど・感電やけが、故障の原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に依頼してください。お客様による修理は、絶対におやめください。



パネルのねじを
ゆるめない・はずさない

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、34ページをご覧ください。

リモコン



パナソニック
リチウム電池（CR2025）
（1個）

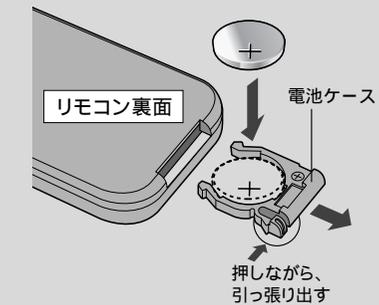


添付品

取扱説明書（本書）
保証書
お客様ご相談窓口一覧表

リモコンに電池を入れる

- 1 電池ケースを出して、電池をはめ込む
⊕⊖の向きを、
電池ケースの表示に合わせてください。



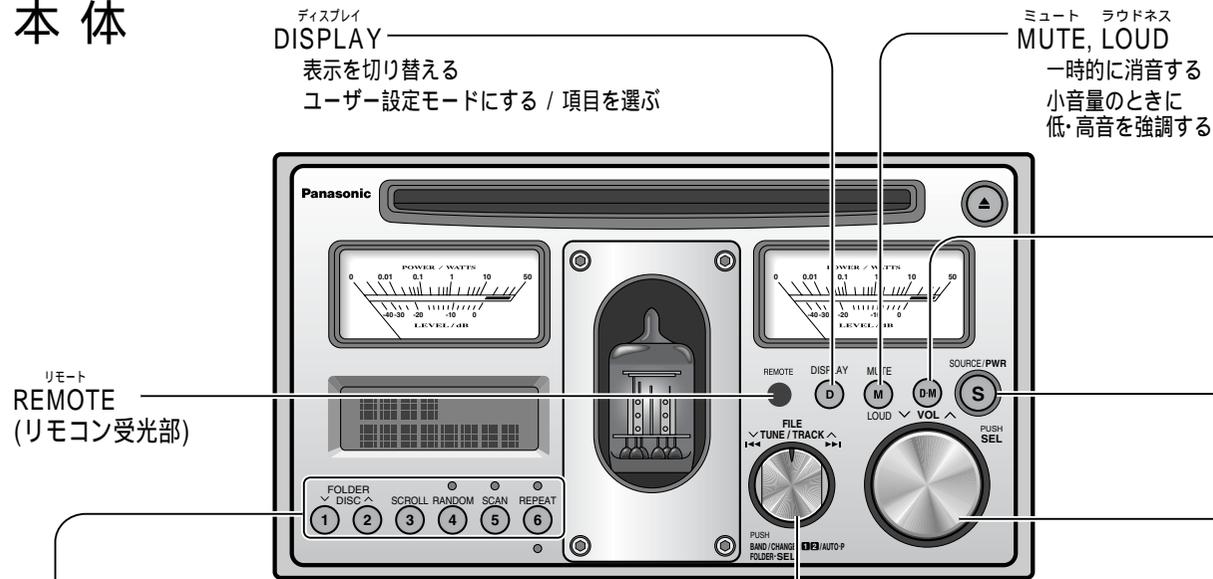
- 2 電池ケースを入れる
奥まで押し込んでください。

電池について

使用電池：パナソニック リチウム電池（CR2025）
電池寿命：通常の使用状態（常温時）で約6ヶ月
取り扱いの注意書き（7ページ）を、よくお読みください。

各部のなまえとはたらき

本体



ディスプレイ DISPLAY
表示を切り替える
ユーザー設定モードにする / 項目を選ぶ

ミュート ラウドネス MUTE, LOUD
一時的に消音する
小音量のときに
低・高音を強調する

後面の端子については、
「配線のしかた」を
ご覧ください
(36 ~ 37 ページ)

ダイレクトメモリ D・M
交通情報などを受信する
お好みの放送局を記憶させる

パワー ソース PWR, SOURCE
電源を ON/OFF する
音源(ソース)を切り替える

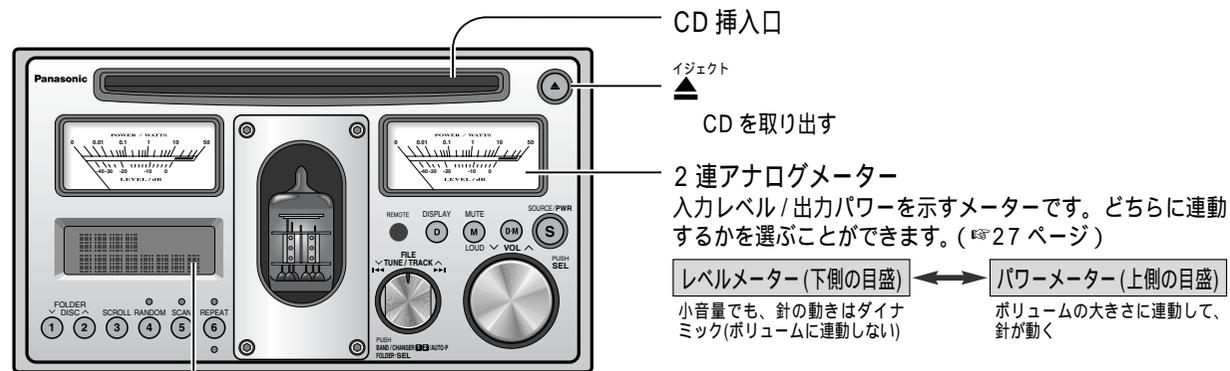
リモート REMOTE
(リモコン受光部)

- 1 ~ 6
放送局を記憶させる / 呼び出す (プリセット)
ディスクを選ぶ (DISC) 「1, 2」
フォルダを選ぶ (FOLDER) 「1, 2」
タイトルをスクロールさせる (SCROLL) 「3」
順不同に聞く (RANDOM) 「4」
曲を探す (SCAN) 「5」
繰り返し聞く (REPEAT) 「6」

- セルフリターンキー**
チューン ファイル トラック
TUNE / FILE, TRACK ◀ ▶
周波数 / 曲 / ファイルを選ぶ
フォルダを選ぶ (フォルダセレクトモード時)
設定・調整する (ユーザー設定モード時)
回す
- バンド チェンジャー オートプリセット
BAND, CHANGER 1 2, AUTO・P
フォルダ・セレクト
FOLDER・SEL
バンドを選ぶ
2 台のチェンジャーを切り替える
放送局を自動で探し、記憶させる
フォルダセレクトモードにする / 決定する
押す

- ロータリーエンコーダー**
ボリューム
VOL
音量を調整する
音質を調整する (音質調整モード時)
回す
- セレクト
SEL
音質調整の項目を選ぶ
設定・調整を全て消去する (メモリー消去)
押す

表示部・ディスク挿入口



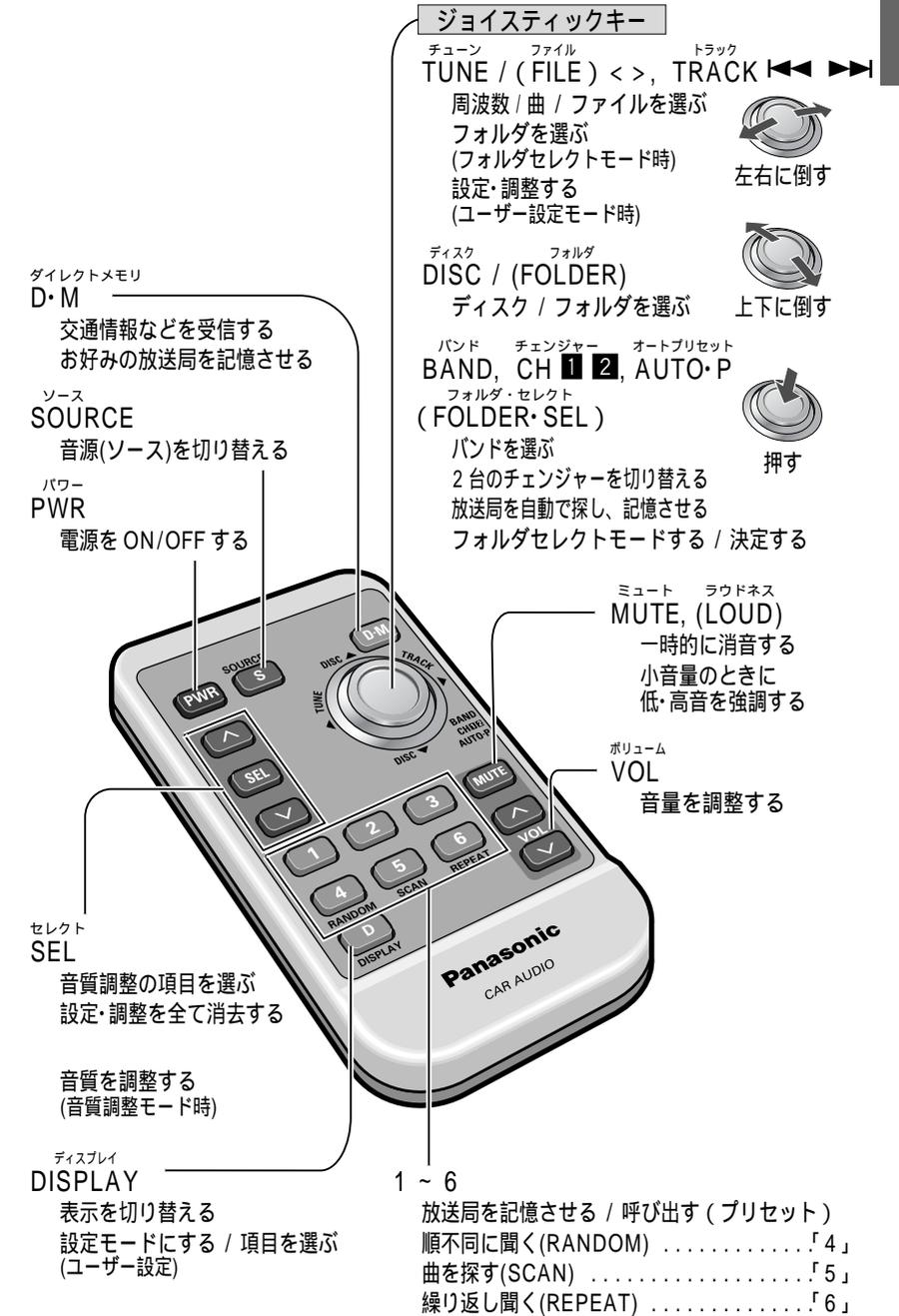
- CD 挿入口**
イジェクト
CD を取り出す
- 2 連アナログメーター**
入力レベル / 出力パワーを示すメーターです。どちらに連動するかを選ぶことができます。(27 ページ)
- レベルメーター (下側の目盛)** ← **パワーメーター (上側の目盛)**
小音量でも、針の動きはダイナミック(ボリュームに連動しない)
ボリュームの大きさに連動して、針が動く

お願い
パネルのねじをゆるめたり、はずしたりしないでください。
セルフリターンキーは、無理に回さないでください。

お知らせ
メーターの指示値は目安です。
測定などの用途には使用できません。

リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。



- ジョイスティックキー**
チューン ファイル トラック
TUNE / (FILE) < >, TRACK ◀ ▶
周波数 / 曲 / ファイルを選ぶ
フォルダを選ぶ (フォルダセレクトモード時)
設定・調整する (ユーザー設定モード時)
左右に倒す
- ディスク フォルダ
DISC / (FOLDER)
ディスク / フォルダを選ぶ
上下に倒す
- バンド チェンジャー オートプリセット
BAND, CH 1 2, AUTO・P
フォルダ・セレクト
(FOLDER・SEL)
バンドを選ぶ
2 台のチェンジャーを切り替える
放送局を自動で探し、記憶させる
フォルダセレクトモードにする / 決定する
押す

- ダイレクトメモリ D・M**
交通情報などを受信する
お好みの放送局を記憶させる
- ソース SOURCE**
音源(ソース)を切り替える
- パワー PWR**
電源を ON/OFF する

- ミュート ラウドネス MUTE, (LOUD)**
一時的に消音する
小音量のときに
低・高音を強調する
- ボリューム VOL**
音量を調整する

- セレクト SEL**
音質調整の項目を選ぶ
設定・調整を全て消去する
- 音質を調整する (音質調整モード時)
- ディスプレイ DISPLAY**
表示を切り替える
設定モードにする / 項目を選ぶ (ユーザー設定)

- 1 ~ 6
放送局を記憶させる / 呼び出す (プリセット)
順不同に聞く (RANDOM) 「4」
曲を探す (SCAN) 「5」
繰り返し聞く (REPEAT) 「6」

ご使用前に

電源を入れる・基本操作

準備 車のエンジンをかける
(「ACC ON」でも可)



電源を入れる/切る

お知らせ

電源が切れているときにディスク(マガジン)を入れると電源が入り、再生が始まります。
再生中のディスク(マガジン)を取り出すと、電源が切れます。

SOURCE/PWR



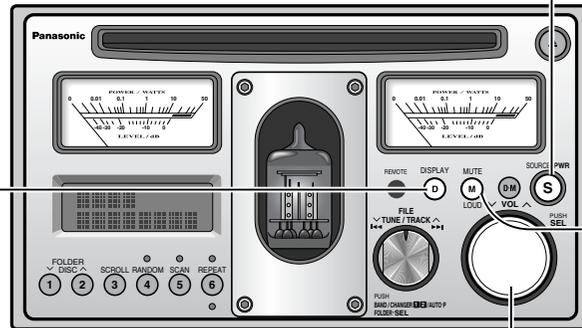
ON (入) : 押す
OFF (切) : 1 秒以上押す

リモコンは



を押すごとに ON/OFF

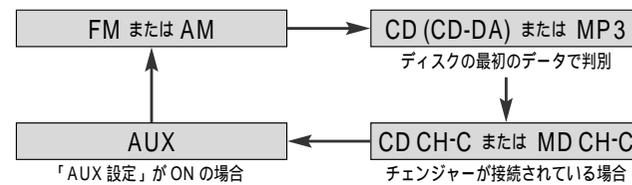
CD/MP3 は、真空管が暖まっ
てから再生が始まります。
しばらく(約 15 秒)お待ちくだ
さい。



音源(ソース)を選ぶ

SOURCE / PWR

S を押して、切り替える



お知らせ

外部音声入力(AUX)を使用しない場合は、スキップさせることができます。(P.27 ページ)

音量を調整する



を回す

モードごと(ラジオは AM・FM ごと)に記憶されるので、モードを切り替えると音量も変わります。(インテリジェントボリューム)



調整範囲 : 0 dB ~ - 79 dB、 - dB
最大 最小(無音)

一時的に消音する(ミュート)

MUTE



LOUD (再度押すと、解除)



点滅する

小音量のときに

低・高音を強調する(ラウドネス)

MUTE



LOUD (再度 2 秒以上押すと、解除)

設定が ON のときは、LOUD インジケータが点灯します。

LOUD

表示を切り替える

DISPLAY



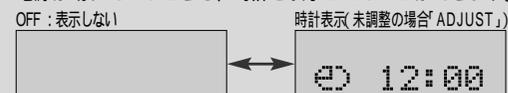
を押す

お知らせ

表示は、ソースごとに異なります。
時計調整は、26 ページをご覧ください。



電源が切れているときも、時計を表示させることができます。

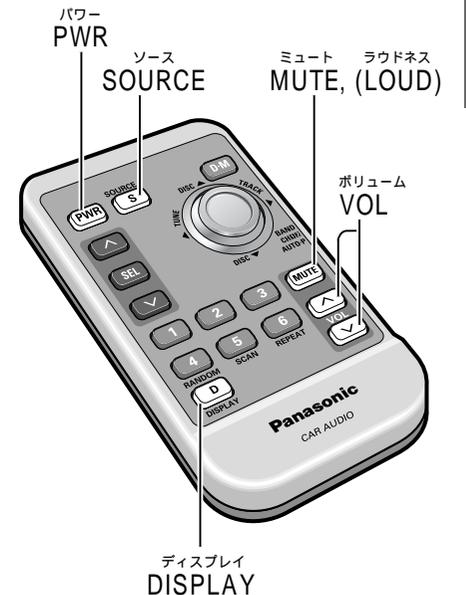


タイトル表示について

英/数/カナなどの半角 8 文字(スクロール時の表示は最大 48 文字)まで表示できます。(P.17, 20, 23 ページ)
ひらがなは、カタカナに変換して表示されます。

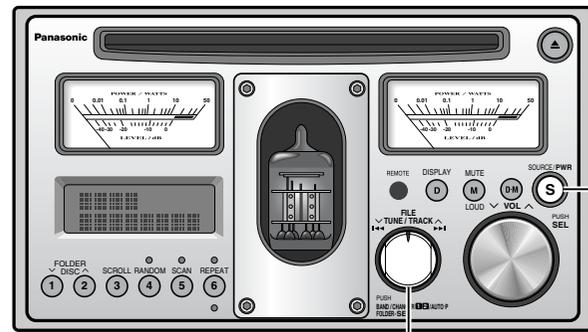
漢字/全角文字/一部の記号や文字(言語)などは表示できません。
ブランクスペースになったり、文字化けする場合があります。
CD モードでは、CD テキスト(ディスクに記録されているタイトル情報)が表示されます。
CD チェンジャーは、表示できません。

MP3 のフォルダ名・ファイル名表示については、21 ページをご覧ください。



使
い
か
た

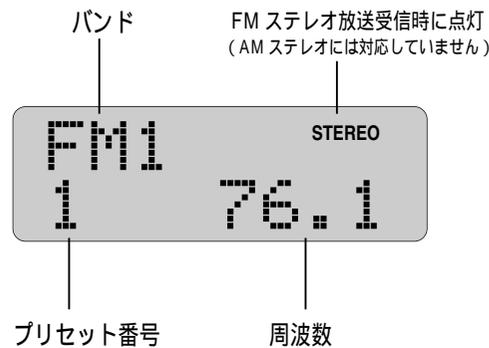
ラジオを聞く



1 SOURCE / PWR を押して、ラジオ (FM/AM) モードにする

2 を押して、バンドを選び

3 を回して、放送局を選ぶ
自動選局(シーク)したいときは 0.7 秒以上回し続ける
はなした時点から選局を始め、受信すると止まります。

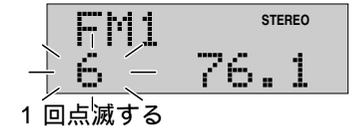


放送局を記憶させるには

各バンド (FM1、FM2、AM1、AM2) ごとに、放送局を最大 6 局まで記憶させることができます。

一つずつ記憶させる (プリセットメモリ)

バンドと周波数を選び (左ページ)
① ~ ⑥ を 2 秒以上押す (プリセットボタン)
プリセット番号が 1 回点滅し、受信している放送局が記憶されます。



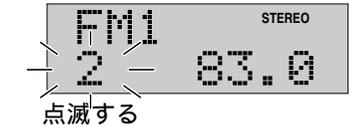
受信状態のよい順に記憶させる (オートプリセットメモリ)

バンドを選び (左ページ)

を 2 秒以上押す

受信状態のよい放送局が、プリセット番号 1 から順に記憶されます。

終了すると...
記憶された放送局が約 5 秒ずつスキャンされます。
① ~ ⑥ を押して、放送局を選んでください。 スキャン中の表示 (プリセットボタン)

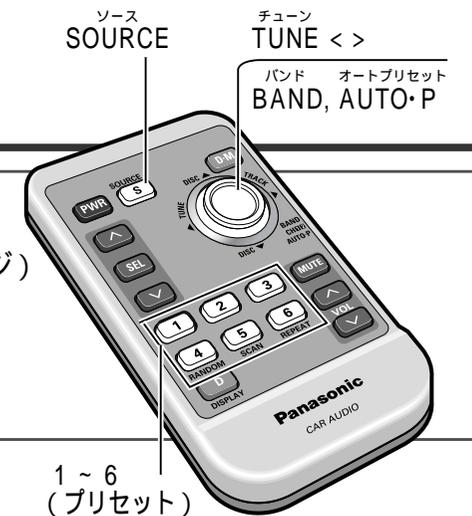


お知らせ

記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに上書きして更新されます。

放送局を呼び出す (プリセット呼び出し)

バンドを選び (左ページ)
① ~ ⑥ を押す (プリセットボタン)



使いかた

CD を聞く

CD-DA データと MP3 ファイルが混在している場合は、ディスクの最初にあるデータが CD-DA であれば音楽 CD、MP3 ファイルであれば MP3 として認識します。(全てのデータをチェックするため、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。)

CD を取り出すには
本体の **▲** を押す



タイトル面を上にして
シングルアダプターを使用しないでください。8cmCD は、アダプターなしで再生できます。

CD を入れると再生が始まります。

CD が入っていないことを確かめてから、入れてください。
(▲ ボタン点灯時は、CD が入っています。)

CD が入っているときは

1 SOURCE / PWR **S** を押して、
CD モードにする

再生が始まります。

「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 FILE TRACK **▲** を回して、
曲を選ぶ

早送り/早戻しするには

0.7 秒以上回し続ける

回している間、早送り/早戻しされます。

曲番号

CD01
2'34

曲の再生経過時間

お願い

「ディスクの取り扱いについて」(P.29 ページ)をよくお読みください。

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない
シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW) は使用しない

お知らせ

CD/MP3 は、真空管が暖まってから再生が始まります。
しばらく(約 15 秒)お待ちください。

イジェクト後、CD を約 30 秒間くわえたままにすると、自動的に引き込みます。(CD モード時は、再生が始まります。)

CD-R/RW は、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによっては正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

いろいろな聞きかた

順不同に聞く
(ランダム)

RANDOM
4 を押す
(再度押すと、解除)

曲を探す
(スキャン)

全ての曲を
約 10 秒ずつ再生する

SCAN
5 を押す
(再度押すと、解除)

一周すると...
解除され、もとの曲の
先頭に戻ります。

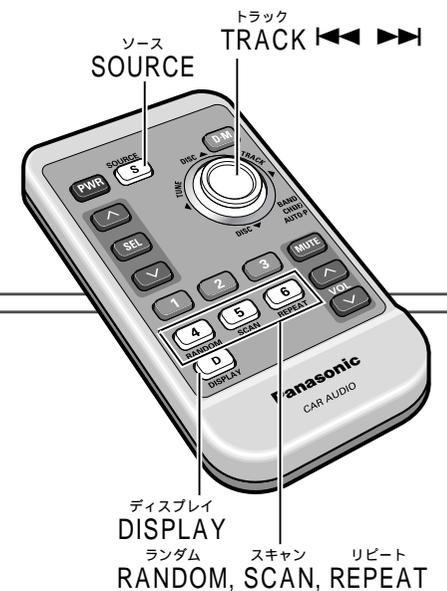
繰り返し聞く
(リピート)

再生中の曲を
繰り返し再生する

REPEAT
6 を押す
(再度押すと、解除)

お知らせ

ランダム/スキャン/リピート再生中は、
各々のランプが点灯します。



タイトル情報を表示させるには

DISPLAY **D** を押して、
表示を切り替える (P.12 ページ)

「NO TITLE」と表示されたときは...
タイトル情報が記録されていません。



CD は、CD テキスト (ディスクに記録されているタイトル情報) を表示させることができます。
左のマークがついたディスクなど

お知らせ

タイトルを表示していないときにスクロールを ON にすると、トラック表示に切り替わります。

スクロール OFF のときに、表示切替/ソース切替/ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の 8 文字までを表示して停止します。

タイトル表示については、13 ページをご覧ください。

タイトルをスクロールさせるには

SCROLL
本体の **3** を押す (再度押すと、解除)

MP3を聞く

CD-DA データと MP3 ファイルが混在している場合は、ディスクの最初にあるデータが CD-DA であれば音楽 CD、MP3 ファイルであれば MP3 として認識します。(全てのデータをチェックするため、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。)

CD を取り出すには
本体の **▲** を押す



CD を入れると再生が始まります。

CD が入っていないことを確かめてから、入れてください。
(▲ ボタン点灯時は、CD が入っています。)

CD が入っているときは

1 **S** を押して、
MP3 モードにする

再生が始まります。

「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 **1** **2** を押して、
フォルダを選び



3 **FILE TRACK** を回して、
ファイルを選ぶ

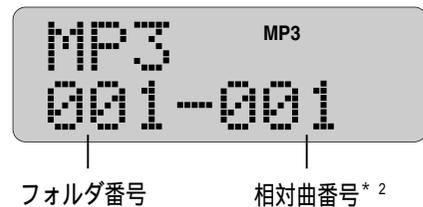
早送り/早戻しするには
0.7 秒以上回し続ける

回している間、早送り/早戻しされます。
(再生経過時間の表示が実際とずれる場合がありますが、他のファイルを再生すると、正常に戻ります。)

通常表示



フォルダ・ファイル表示



*1 絶対曲番号：ディスク内全てに対する曲ファイル番号
*2 相対曲番号：再生中のフォルダ内に対するファイル番号

お願い

「ディスクの取り扱いについて」(P.29 ページ)をよくお読みください。

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない
シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW) は使用しない

お知らせ

CD/MP3 は、真空管が暖まってから再生が始まります。
しばらく(約 15 秒)お待ちください。

イジェクト後、CD を約 30 秒間くわえたままにすると、自動的に引き込みます。(CD/MP3 モード時は、再生が始まります)
フォルダやファイルを連続して順送りすると、途中の(スキップした)曲の頭の音が出る場合があります。

再生中に車の ACC 電源を OFF にした場合、再生経過時間の表示が実際とずれる場合があります。また、可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、曲の頭に戻る場合があります。

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによっては正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

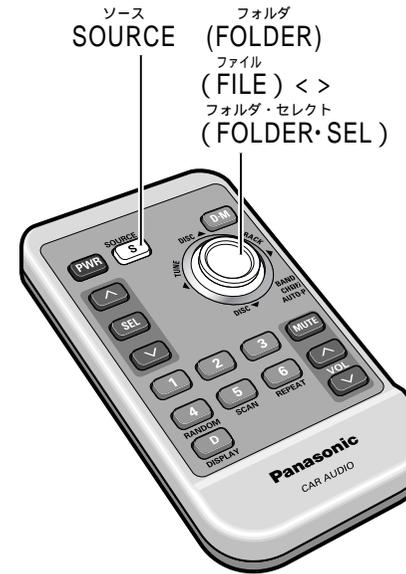
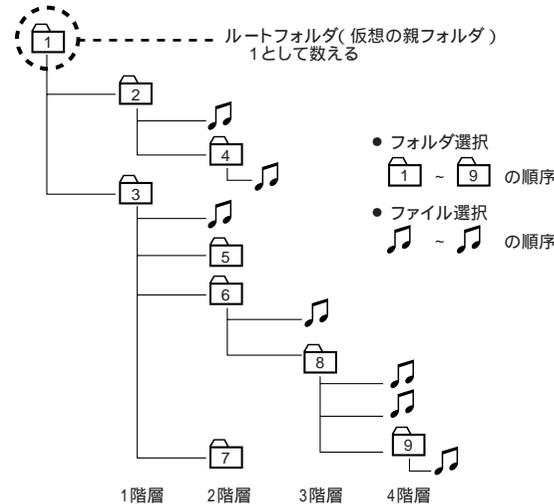
「MP3 ファイル作成時の留意点」
(P.21 ページ)をよくお読みください。

階層と再生順序のイメージ (例)

本機では、フォルダの中にファイルがなくても一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。

1 階層目の (ルートフォルダの中にある) ファイルを再生したい場合は、「ROOT」(仮定の親フォルダ)を選んでください。

ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、お望みの再生順序にならない場合があります。また、同一の CD でも使用する機器 (プレーヤー) によって再生順序が異なる場合があります。



聞きたいフォルダをスピーディに選ぶには (フォルダセレクト)

1 **FILE TRACK** を押して、
フォルダセレクトモードにする。

ROOT (仮定の親フォルダ) と表示されます。

2 **1** **2** でフォルダを選び、
フォルダ名が切り替わります。

3 **S** を押して、決定する。
選択したフォルダの最初のファイル (1 曲目) から再生が始まります。

お知らせ

約 20 秒間何も操作をしないと...
通常モードに戻ります。
途中でやめる (通常モードに戻す) には...
DISPLAY

D を押す

いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム)	全ての曲	RANDOM ④ を押す (再度押すと、解除)	お知らせ ランダム/リピート再生中は、各々のランプが点灯します。
	再生中のフォルダ	RANDOM ④ を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除)	
繰り返し聞く (リピート)	再生中の曲	REPEAT ⑥ を押す (再度押すと、解除)	ランダム リピート RANDOM, REPEAT
	再生中のフォルダ	REPEAT ⑥ を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除)	



フォルダ名・ファイル名を表示させるには

DISPLAY
① を押して、
表示を切り替える (P.12 参照)
「NO TITLE」と表示されたときは...
タイトル情報が記録されていません。

フォルダ名・ファイル名を スクロールさせるには

SCROLL
③ を押す (再度押すと、解除)

お知らせ

1 階層目の (ルートフォルダの中にある) ファイルを再生している場合は、フォルダ名表示のときに「ROOT」(仮想の親フォルダ) と表示されます。タイトルを表示していないときにスクロールを ON にすると、ファイル名表示に切り替わります。スクロール OFF のときに、表示切替/ソース切替/ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の 8 文字までを表示して停止します。

フォルダ名・ファイル名表示については、右ページをご覧ください。

MP3 ファイル作成時の留意点

MP3 (エムピースリー) とは

MPEG-1 Audio Layer 3、MPEG-2 Audio Layer 3 LSF (Low Sampling Frequency) の略称。MPEG はビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。MP3 は、MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。約 10 分の 1 に圧縮できるので、音楽 CD 約 10 枚分の音楽データを CD-R/RW 1 枚に書き込めます。(ビットレート 128 kbps、サンプリング周波数 44.1 kHz で、容量 650 MB の CD-R/RW に書き込んだ場合のおよその数値)

音楽データを MP3 ファイルにエンコード(変換)するときは

ビットレートは「128 kbps 以上」の「固定」に設定してください。推奨

「MPEG-2のビットレート 8kbps」、「MPEG-2のサンプリング周波数 16kHz」で記録されたファイルは、再生できません。可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

ディスクに MP3 ファイルを書き込むときは

MP3 以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

多くのフォルダや MP3 以外のファイルを書き込むと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

本機が対応しているファイルシステムで書き込んでください。(P.12 参照)

APPLE HFS フォーマットには対応していません。

規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、フォルダ名・ファイル名が正しく表示されない場合があります。

MP3 ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。

MP3 以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。(拡張子は表示されません。)

「Disc at Once (ディスクアットワンス)」で書き込むことをお勧めします。(マルチセッションにも対応しています。) データを書き込んだディスクは、必ずクローズセッションしてください。

パケットライトソフトには対応していません。

プレイリスト機能には対応していません。ファイル名の頭に「01」～「99」などを入力することで、順番を設定できるライティングソフトもあります。

ID3Tag (タグ) 機能には対応していません。各種情報などが記録されていても表示できません。

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

ファイルシステム対応表

ファイルシステム	本機での表示について
ISO 9660 レベル 1	フォルダ名・ファイル名の入力には、英 / 数 / カナ を使用してください。推奨 フォルダ名・ファイル名は、最大 31 文字まで (スクロール時) 表示できます。 ファイルシステムによって文字数の制限などがあります。詳しくはライティングソフトの説明書をよくお読みください。 ひらがなは、カタカナに変換して表示されます。 漢字 / 一部の記号や文字 (言語) などは表示できません。ブランクスペースになります。 * 「Joliet」は、半角の英 / 数 で入力してください。最大 15 文字まで表示できます。(スクロール時) ひらがな / 漢字 / 一部の記号や文字 (言語) などは表示できません。ブランクスペースや文字化けした表示になります。
ISO 9660 レベル 2	
Joliet *	
Romeo	
ISO 9660 アップル拡張	

ファイル/フォルダ数の制限

フォルダの階層数 : 最大 8 階層

最大ファイル/フォルダ数 : 254 (ファイル数+フォルダ数、ルートフォルダを含まず)

ファイルとフォルダの合計数が 254 を超えた場合は、正常に再生できない場合があります。

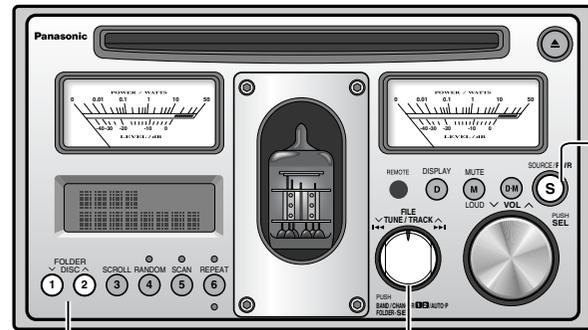
お知らせ

再生できないファイルは「ERROR4」と表示されます。MP3 エンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されていません。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

チェンジャーで CD/MD を聞く



準備 CD チェンジャーや MD チェンジャーを接続してください。(P.40 ページ)

1 **S** を押して、チェンジャー (CH-C) モードにする

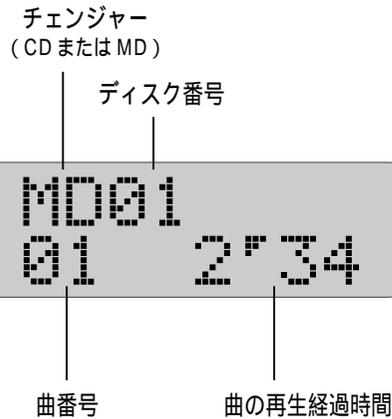
再生が始まります。
「NO MAGAZINE」と表示されたときは...
マガジンを入れてください。
「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 **1** **2** を押して、ディスクを選び

3 を回して、曲を選ぶ

早送り/早戻しするには
0.7 秒以上押し続ける
回している間、早送り/早戻しされます。

お知らせ
CD チェンジャー : CD-R は機種により使用できないものがあります。CD-RW は使用できません。MP3 には、対応していません。
MD チェンジャー : MDLP には対応していません。(無音で再生されます)
ディスクの取り扱いについては、29 ページをお読みください。



チェンジャーを 2 台使う場合は (ツインチェンジャー)

準備 ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) で、CD チェンジャーや MD チェンジャーを 2 台接続してください。(P.40 ページ)

を押して、チェンジャーを切り替える

お知らせ
前回電源を切ったときに選択されていたチェンジャーにマガジン (ディスク) を入れると、電源が入ります。

チェンジャー番号が、約 2 秒間表示されます。

CH-C CHANGER 2 — チェンジャー番号

いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム)	全ての曲	RANDOM 4 を押す (再度押すと、解除)	お知らせ ランダム/スキャン/リピート再生中は、各々のランプが点灯します。 RANDOM SCAN REPEAT
	再生中のディスク	RANDOM 4 を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除)	
曲を探す (スキャン) 約 10 秒ずつ再生する	全ての曲	SCAN 5 を押す (再度押すと、解除)	一周すると... 解除され、もとの曲の先頭に戻ります。
	ディスクの 1 曲目	SCAN 5 を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除)	一周すると... 解除され、もとのディスクの先頭に戻ります。
繰り返し聞く (リピート)	再生中の曲	REPEAT 6 を押す (再度押すと、解除)	
	再生中のディスク	REPEAT 6 を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除)	

MD のタイトル情報を表示させるには

DISPLAY **D** を押して、表示を切り替える (P.12 ページ)
「NO TITLE」と表示されたときは...
タイトル情報が記録されていません。

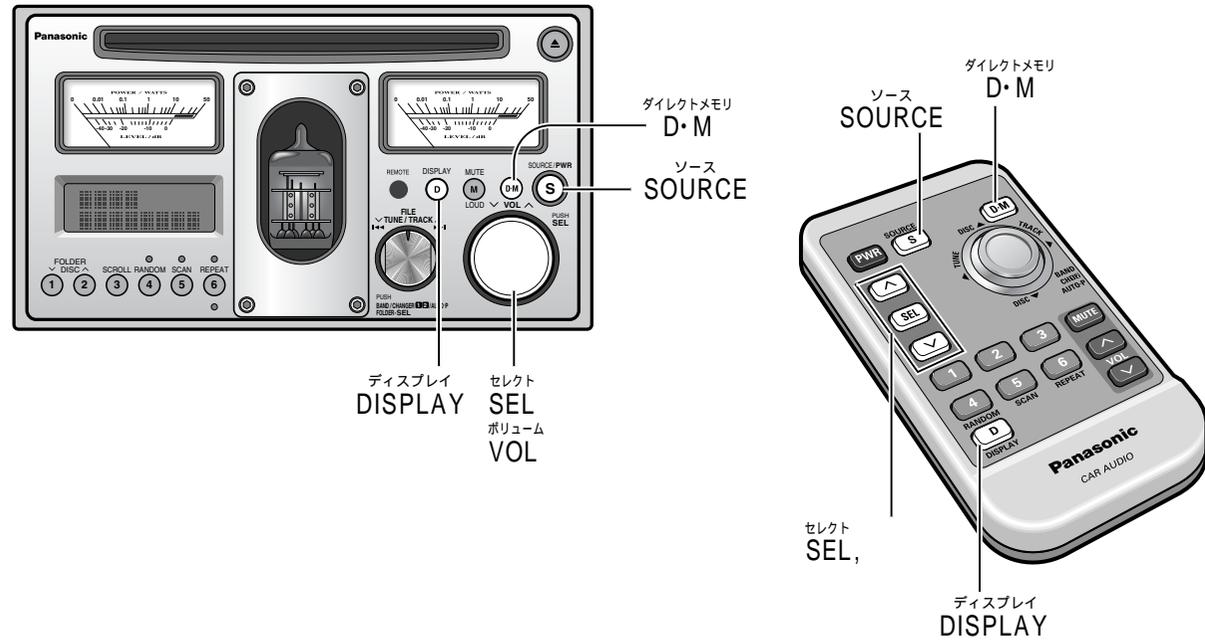
MD のタイトルをスクロールさせるには

SCROLL 本体の **3** を押す (再度押すと、解除)

お知らせ
タイトルを表示していないときにスクロールを ON にすると、トラック表示に切り替わります。
スクロール OFF のときに、表示切替/ソース切替/ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の 8 文字までを表示して停止します。
タイトル表示については、13 ページをご覧ください。

CD チェンジャーは、
タイトルを表示できません。

便利な機能



交通情報などをボタン一つで受信する (ダイレクトメモリ)

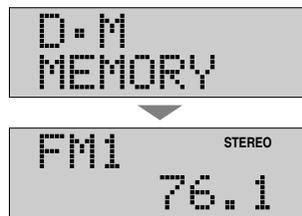
電源が切れているときでも、どのモードからでも、交通情報を受信できます。お好きな放送局を記憶させることもできます。
初期設定：AM 1620kHz

D・M を押す (再度押すと、解除)
記憶されている放送局を受信します。



記憶させるには FM/AM モードで周波数を選び(※14 ページ)

D・M を 2 秒以上押す
上書きして、放送局が記憶されます。



外部機器の音声を聞く (AUX)

準備 外部音声入力コード (AUX-IN) にテレビの音声などを接続してください。(※38 ページ)

SOURCE / PWR **S** を押して、AUX モードにする



音質の調整

- 1 **PUSH SEL** を押して、項目を選ぶ。
- 2 **VOL** を回して、調整する。

リモコンは



お知らせ

各項目が表示されている間(約 10 秒間)何も操作しないと...
メインボリュームは、約 2 秒間通常モードに戻ります **DISPLAY**
通常モードに戻すには... **D** 押す
記憶されている設定・調整を全て初期化するには... 33 ページをご覧ください。

低音域のレベルを調整する (バス)

初期設定：0 dB
調整範囲：- 12 dB ~ + 12 dB (2 dB ずつ)

「 - 」：低減される
「 + 」：強調される



高音域のレベルを調整する (トレブル)

初期設定：0 dB
調整範囲：- 12 dB ~ + 12 dB (2 dB ずつ)

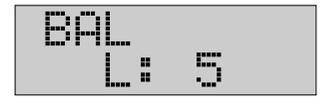
「 - 」：低減される
「 + 」：強調される



左右の音量レベルを調整する (バランス)

初期設定：CENTER (0)
調整範囲：L/R 各 1 ~ 15 (1 ステップずつ)

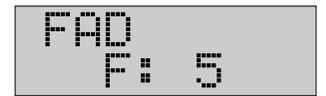
「L」(Left)：左側が強調される
「R」(Right)：右側が強調される



前後の音量レベルを調整する (フェダー)

初期設定：CENTER (0)
調整範囲：F/R 各 1 ~ 15 (1 ステップずつ)

「F」(Front)：前方が強調される
「R」(Rear)：後方が強調される



音量を調整する (メインボリューム)

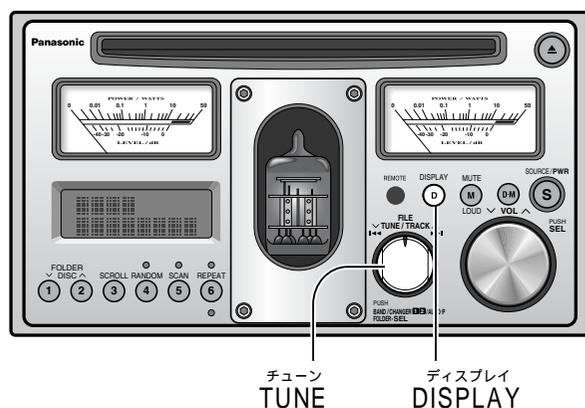
通常モードでも調整できます。

調整範囲：0 dB ~ - 79 dB, - dB (1 dB ずつ)

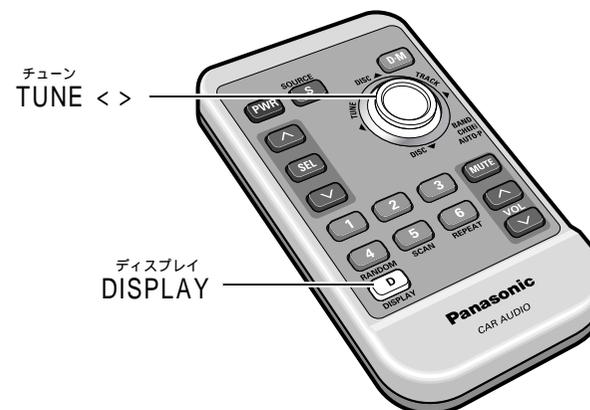
「 - 」：最小レベル
「 0 」：最大レベル



ユーザー設定



- 1 **DISP** を 2 秒以上押して、設定モードにする。
- 2 **DISP** を押して、項目を選ぶ。
- 3 **TUNE/TRACK** を回して、設定・調整する。
リモコンは



お知らせ
各項目が表示されている間(約 10 秒間)何も操作しないと... 通常モードに戻ります
通常モードに戻すには...
DISP 2 秒以上押す
記憶されている設定・調整を全て初期化するには... 33 ページをご覧ください。

時計を調整する

初期設定：ADJUST (未調整)

...「分」を調整する
...「時」を調整する
24 時間表示

「時」「分」を切り替えるたびに、秒が 0 になります。(リセット)

ボタンを押した音(操作音)を出す/出さないを選ぶ

(ビープ音設定)

初期設定：ON

ON : 出す
 OFF : 出さない

ビープ音は、プリアウト端子からは出ません。
内蔵アンプを OFF に設定すると、ビープ音の設定も OFF になります。(28 ページ)

表示のコントラストを調整する

初期設定：LEVEL 3

調整範囲：LEVEL 1 ~ 5

1 2 3 4 5

表示が見やすくなるように、調整してください。

ボタンの照明を設定する

初期設定：ON

AUTO : 車のスモールランプに連動して点灯する
 ON : 点灯する
 OFF : 消灯する

アナログメータの照明を設定する

初期設定：ON

AUTO : 車のスモールランプに連動して点灯する
 ON : 点灯する
 OFF : 消灯する

アナログメータの動きかたを選ぶ

初期設定：LEVEL METER

LEVEL : ソースの入力レベルに連動する(下段の目盛)
小音量でも、針の動きはダイナミック
(ボリュームに連動しない)

POWER : 本機の出カパワーに連動する(上段の目盛)
ボリュームの大きさに連動して針が動く

メータの指示値は目安です。測定などの用途には、使用できません。

FM放送の受信を安定させる

(FM ダイバシティアンテナ受信)
FM ダイバシティアンテナが装備されている場合に有効な機能です。

初期設定：OFF

ON : 使用する
 OFF : 使用しない、装備していない

外部音声入力(AUX)を使用する/しないを選ぶ

(AUX 設定)

初期設定：ON

ON : 使用する
 OFF : 使用しない(AUX モードをスキップする)

カーナビ音声案内中の本機の音量を設定する

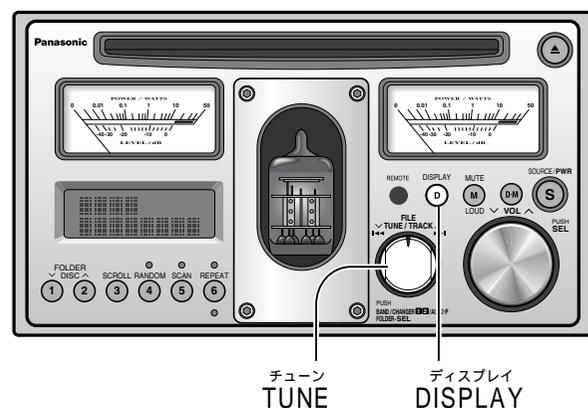
(ナビミュート設定)

初期設定：HALF

HALF : 本機の音量が、約 1/10 に下がる
 ON : 本機の音量が、0 (無音) になる
 OFF : 通常の音量のまま 音量調整可

準備 ナビミュートコードを接続してください。
(39 ページ)

使いかた



- 1 **DISPLAY** **D** を 2 秒以上押して、設定モードにする。
- 2 **DISPLAY** **D** を押して、項目を選ぶ。
- 3 **TUNE/TRACK** を回して、設定・調整する。



照明の明るさを設定する (デマー設定)

初期設定: AUTO

- AUTO**: 車のスモールランプに連動して減光される (点灯時に暗くなる)
- ON**: 減光する (暗い)
- OFF**: 減光しない (明るい)

**DIM
AUTO**

内蔵アンプを使用する/しないを選ぶ

初期設定: ON

- ON**: 使用する
- OFF**: 使用しない (外部アンプのみを使用する場合)

**AMP
ON**

外部アンプを接続していない場合には、必ず設定を ON にしてください。OFF にすると音が出なくなります。(ピー音含む)

お知らせ

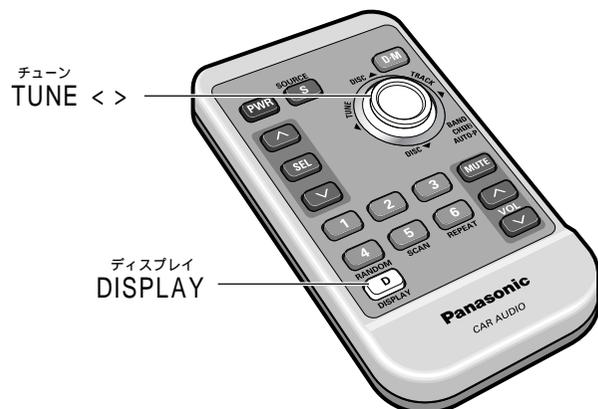
各項目が表示されている間(約 10 秒間)何も操作しないと... 通常モードに戻ります

通常モードに戻すには...

DISPLAY

- D** 2 秒以上押す

記憶されている設定・調整を全て初期化するには... 33 ページをご覧ください。



COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークがついているものを、ご使用ください。

お知らせ

データを読みとって再生が始まるまでに、若干時間がかかる場合があります。(読みとり中は「TOC READ」と表示されます。)

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

CD そのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CD が回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CD を曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない



特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)の CD や、プロテクトフィルム・スタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD は使用しない



本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW は、使用しないでください。

CD-R/RW ディスクのご使用について

再生可能な CD-R/RW ディスクは、通常の音楽 CD の形式(CD-DA)、または MP3 で記録したディスクに限ります。

CD レコーダー(CD-R/RW ドライブ)で記録した CD-R/RW ディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。

CD-R/RW ディスクは通常の音楽 CD に比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。

クローズセッションされていない CD-R/RW ディスクは再生できません。

CD-DA, MP3 以外のデータ(ビデオ CD など)は、再生できません。

保管のしかた

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) 各コードの接続を確かめてください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 36 ~ 40 -
音が出ない	CD/MP3 は、真空管が暖まってから再生が始まります。 しばらく(約 15 秒)お待ちください。	12
	音量を上げてください。	12
	ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。	13
	内部アンプが「OFF」になっている。	28
	外部アンプを接続していない場合には「ON」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。	33
雑音が出る	携帯電話などを本機から離してください。	36 ~ 40 8
ラジオ		
FM ステレオ放送、モノラル 放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか(または、オートアン テナコントロールコードの接続)を確かめてください。 放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- (36) 14
音質・ユーザー設定		
前後左右の何れかの音が 出ない	前後左右のバランスを調整してください。 各コードの接続を確かめてください。	25 36 ~ 40
ステレオのとき、左右の音 が逆になる	スピーカーコードの接続を確かめてください。	37
ピーブ音が出ない	ピーブ音が「OFF」になっている。「ON」にしてください。 内部アンプが「OFF」になっている。 外部アンプを接続していない場合には「ON」にしてください。	26 28

故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
CD / MP3		
ディスクを入れても 音が出ない(再生できない) または自動的に排出される	ディスクを正しい面に入れなおしてください。 音楽用の(録音されている)ディスクを使用してください。 規格に準拠した文字種・文字数で、フォルダ名/ファイル名 を入力してください。 MP3 ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。 CD-R/RW は、使用したライティングソフトやドライブ、または その組み合わせによって正しく表示されない場合があります。	16, 18 29 21 21 16, 18
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機の取り付けを確かめてください。 角度を 30 ° 以内に調整し、振動しないようにしっかり 取り付けてください。 音質は、使用したエンコーダソフトや転送ビットレートの設定など により異なります。エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	29 34 -
CD テキストが正しく表示 されない	CD の汚れをクリーニングしてください。	29
CD を入れても音が出ない (再生経過時間は表示され ている)	真空管が損傷している。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)に真空管の交換を依頼してください。 ミックスモードのディスクの第 1 トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第 1 トラックに音楽以外のデータ、 第 2 トラック以降に音楽データが、1 セッションで記録され ているフォーマットです。) 第 2 トラック以降の音楽データを再生してください。	- -
フォルダ名・ファイル名が 正しく表示されない	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合 わせによって正しく表示されない場合があります。	21 21
再生経過時間の表示が 実際と一致していない	再生中に早送り/早戻しをした、または車の ACC 電源を OFF にした。 他のファイルを再生すると、正常に戻ります。 可変ビットレート (VBR) で記録された MP3 ファイルは、 再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	18 21
再生するまで時間がかかる	CD/MP3 は、真空管が暖まってから再生が始まります。 しばらく(約 15 秒)お待ちください。 ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ファイルのチェックに時間がかかる場合があるので、 MP3 以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込ま ないようにしてください。	12 16, 18 21
順番どおりに再生されない	再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。 ファイル名の頭に「01」~「99」などと入力すること で順番を設定できるライティングソフトもあります。	21
リモコン		
ボタンを押しても 動作しない	⊕⊖ を電池ケースの表示に合わせて入れてください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10

故障かな!?

こんな表示が出たときは

表示	原因・処置
CD / MP3	
ERROR1	E1 / E2 エラーのとき ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 ディスクを取り出し、確かめてください。
ERROR2	E3 エラーのとき 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。 イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、または ACC 電源を入れなおしてください。 動作しない場合には、リセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
ERROR3	再生しようとしたデータが、何らかの原因で読み込めない。 (本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式、拡張子などで記録されている、データが破損しているなど) 読み取れるファイルを選んで、再生してください。 データを確認し、ファイルを作りなおしてください。
ERROR4	再生しようとしたデータが、何らかの原因で読み込めない。 (本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式、拡張子などで記録されている、データが破損しているなど) 読み取れるファイルを選んで、再生してください。 データを確認し、ファイルを作りなおしてください。
NO DISC	ディスクが入っていない。 ディスクを入れてください。
CD / MD チェンジャー	
ERROR1	E1 / E2 エラーのとき 自動的に次のディスクへ切り替わりします。 ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 ディスクを取り出し、確かめてください。
ERROR2	E3 エラーのとき 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。 チェンジャーのイジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、または ACC 電源を入れなおしてください。 動作しない場合には、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
ERROR3	チェンジャーのイジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、または ACC 電源を入れなおしてください。 動作しない場合には、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
NO DISC	ディスクが入っていない。 ディスクを入れてください。
NO MAG	マガジンが入っていない。 マガジンを入れてください。

こんなときは、故障ではありません

結露について

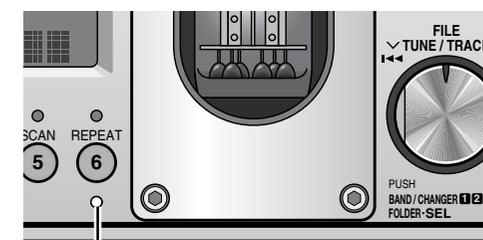
雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部 (CD プレーヤー) の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して 1 時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。

どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、リセットスイッチをまっすぐに押してください。

瞬時に電源が切れて、再起動された状態になります。
(記憶されている設定・調整は、消去されません。)

リセットしても正常に戻らない場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。



リセットスイッチ

記憶されている設定・調整を全て初期化するには (メモリー消去)

- 1  を 5 秒以上押す。
- 2 初期化する場合は 1 を押す。

メモリー消去の確認メッセージが表示されます。



記憶されている設定・調整が消去され、電源が切れます。(出荷時の初期設定になります。)

初期化しない場合には...
他のボタンを押して、解除してください。

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

配線・取り付けの前に

取り付けかた

警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

品名	個数
電源コード	1

取り付け関係

品名	個数
特殊座付きタッピンねじ (5 x 8 mm)	4
特殊皿型タッピンねじ (5 x 8 mm)	8

作業の順序

- ① バッテリーの⊖端子をはずす
- ② 配線する (36 ~ 40 ページ)
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ③ 取り付ける (35 ページ)
- ④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



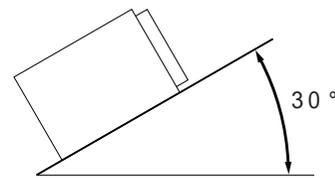
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

車種 (ダッシュボードの形状や寸法) によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

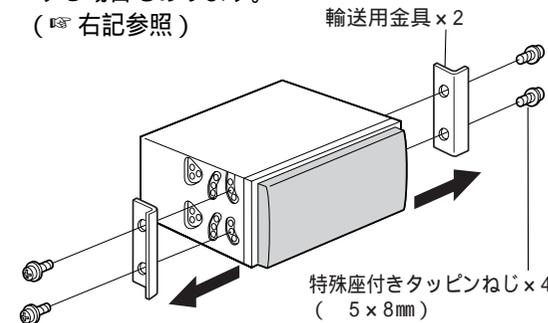
オーディオスペースが 2DIN サイズ (横 180 mm、縦 100 mm) でない場合には、販売店に相談してください。

水平に対して、30° 以内の角度で取り付けてください。



輸送用金具をはずしてください

取りはずした 4 本のねじは、取り付けに使用する場合があります。
(右記参照)



お願い

本機の実取り付け用の穴には、タップ加工がありません。必ず付属のタッピンねじをご使用になり、まっすぐ押しながら締めてください。

付属ねじは、取付金具 (ブラケット) の穴形状に合わせて選んでください。



特殊座付きタッピンねじ (4 本)

残りの 4 本は、輸送用金具を固定していたねじをご使用ください。

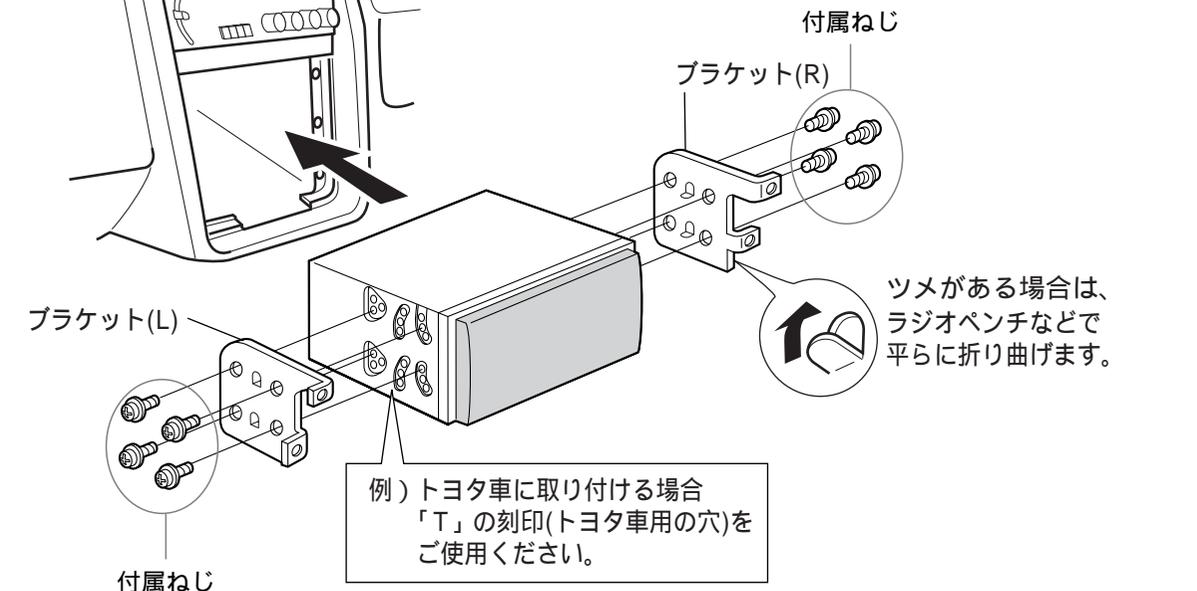
特殊皿型タッピンねじ (8 本)

使用する取付金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。

トヨタ車 (DIN サイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

日産・本田・三菱車 (DIN サイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取付キットをご使用ください。

上記メーカー以外の車
別売の専用取付キット、または汎用取付キットをご使用ください。



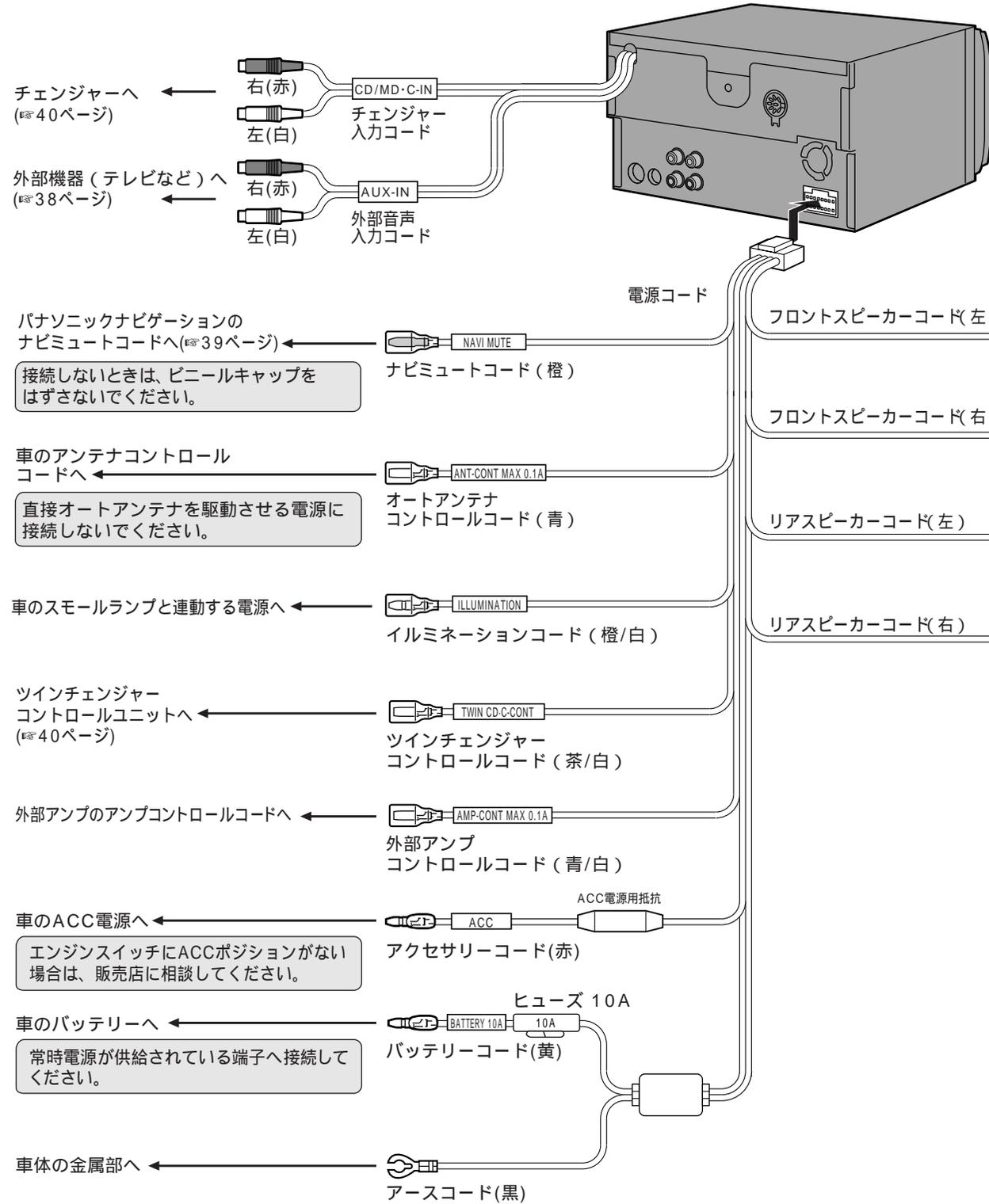
ツメがある場合は、ラジオペンチなどで平らに折り曲げます。

例) トヨタ車に取り付ける場合
「T」の刻印 (トヨタ車用の穴) をご使用ください。

必要なときに

配線のしかた

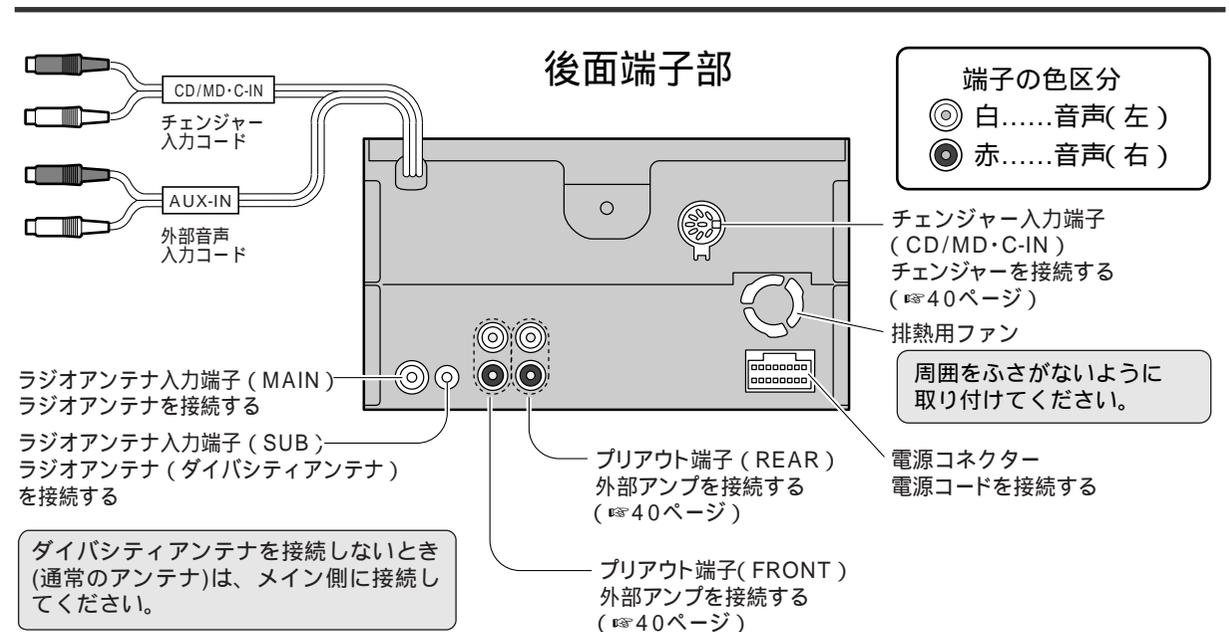
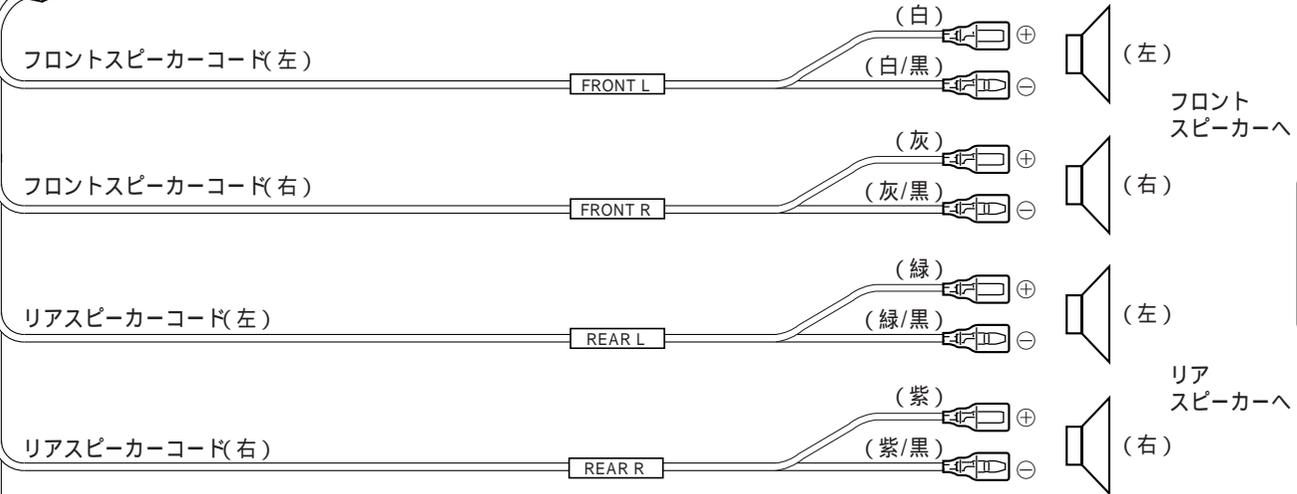
基本配線 (付属コードの接続)



ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

お知らせ

別売のコネクター付コード (車両メーカー別) をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。

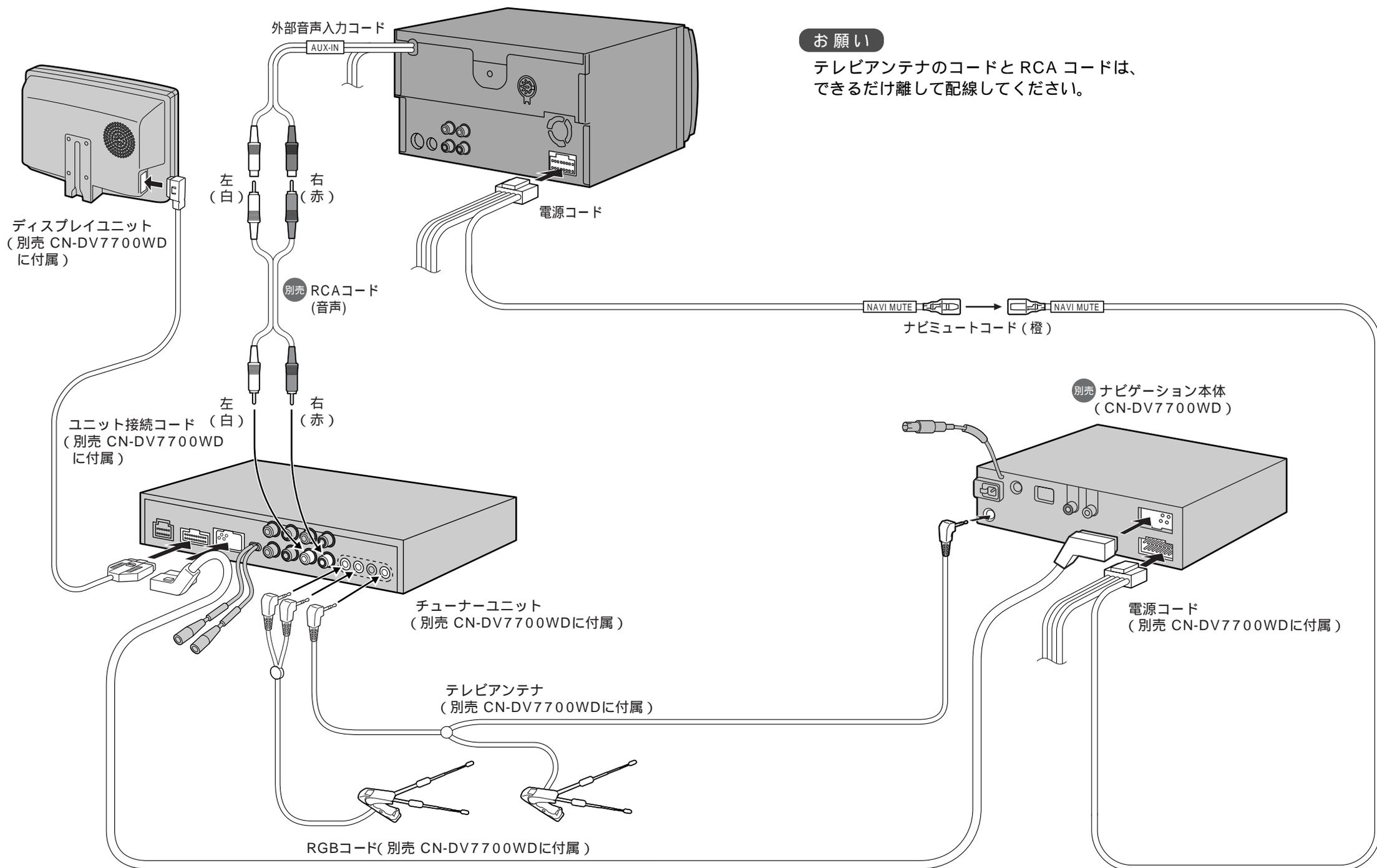


配線のしかた

テレビやカーナビゲーションを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

例)7型ワイドVGAテレビ付DVDカーナビゲーションシステム(CN-DV7700WD)



お願い

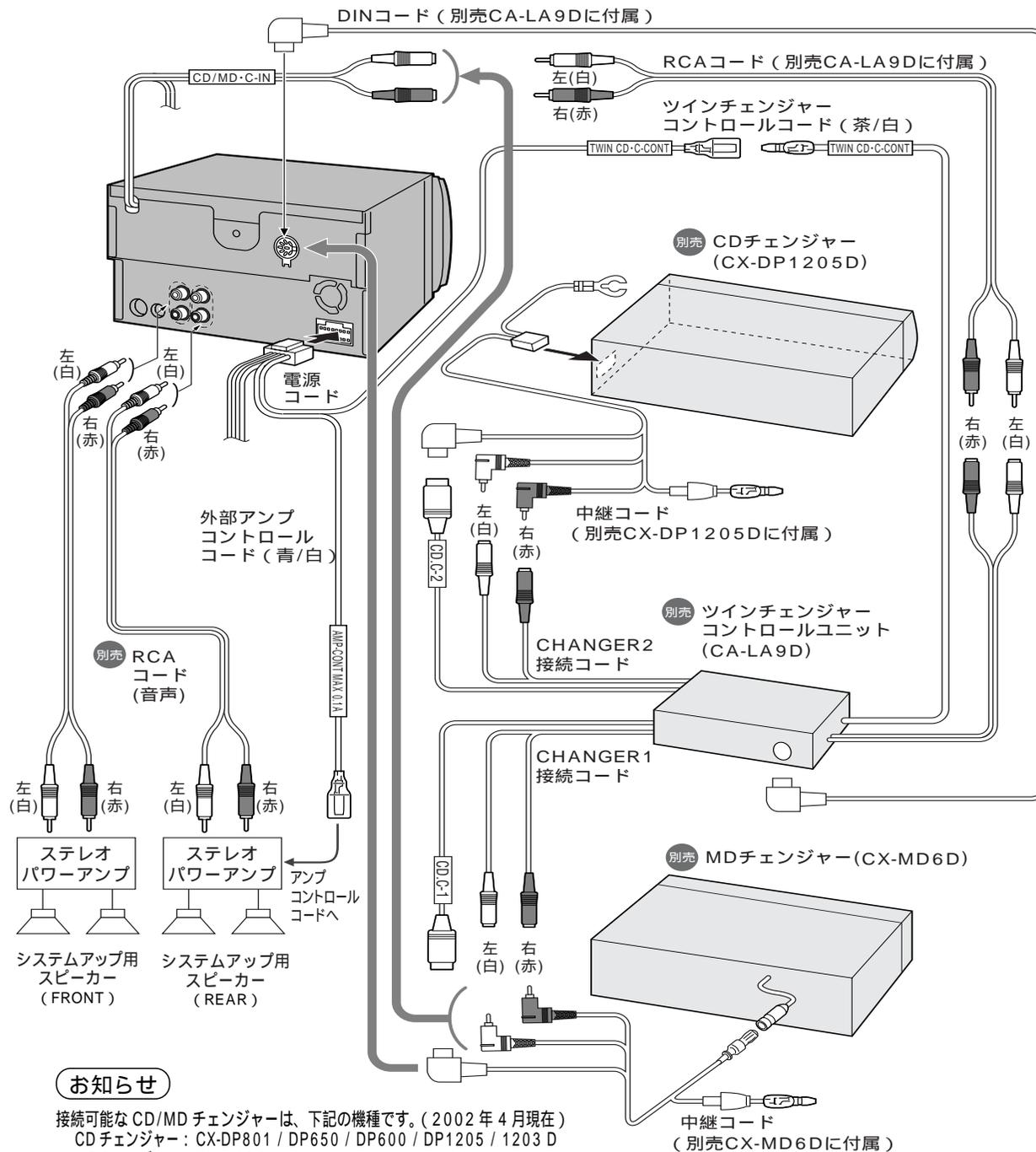
テレビアンテナのコードとRCAコードは、
できるだけ離して配線してください。

チェンジャー、外部アンプを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

例) CDチェンジャー (CX-DP1205D)、MDチェンジャー (CX-MD6D)

2台接続する場合には、ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が必要です。
1台の場合は、太線 (→) のように接続してください。(例: MDチェンジャー)



お知らせ

接続可能な CD/MD チェンジャーは、下記の機種です。(2002年4月現在)
CDチェンジャー: CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
MDチェンジャー: CX-MD6D

共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖ アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 8.5 A (CD 動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4)
最大出力	: 45 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k (AUX IN)
音声入力感度	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 1.8 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法 / 質量	: 幅 178 × 高さ 100 × 奥行き 160 (mm) / 2.3 kg

FM チューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N 比 (MONO)	: 70 dB
ステレオ分離度	: 40 dB
実効選択度 (± 400 kHz)	: 75 dB

AM チューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 25 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CD プレーヤー部

チャンネル数	: 2 チャンネル
複号化	: 16 ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 93 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下
MP3 デコーダー	: MPEG-1 Audio Layer 3 / MPEG-2 Audio Layer 3 LSF
ビットレート	MPEG-1 : 32 kbps ~ 256 kbps、VBR MPEG-2 : 16 kbps ~ 160 kbps、VBR
サンプリング周波数	MPEG-1 : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz MPEG-2 : 22.05 kHz、24 kHz

「NAVI」「ナビ」は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-TX5500D
販売店名	☎ ()	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	-	

この説明書は、再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

YEFM283867 B0302-0